



ニュース11号

Information, Communications, and Attention-Related Empowerment Center for the Challenged
in Hokkaido 障害者のための情報と通信と人々の理解に関するエンパワーメントセンター北海道

Action for Hokkaido 寄付をいただきました

1月30日に、Action for Hokkaido というプログラムの授賞式がありました。これは協賛企業の商品の売り上げの一部をNPO4団体に寄付して下さるといふもの。その4団体のひとつに iCare ほっかいどうを選んでいただき、17万円あまのご寄付をいただきました。こんなに高額な寄付をいただいたのは初めてのことです。各企業の皆様には4団体から感謝状をさしあげました。



このイベントを企画していただいた Action for Hokkaido 事務局のNPO 法人プロデック様、企業の皆様、道庁の担当の皆様、そして何よりこのイベントに賛同してお買いものや飲食にご協力いただいた道民の皆様、本当にありがとうございました。意思伝達支援のためのスイッチ購入や活動にあてさせていただきます。



機器展示

1月10日と11日、北海道岩見沢高等養護学校において機器展示をさせていただきました。道内全域から100名以上の養護教諭の皆さんが参加する研究会でした。顔見知りの先生もいて声をかけていただきました。



活動報告会を終えました

WAM（福祉医療機構）助成事業

2月1日（金）北海道難病センターにおいて活動報告会を行いました。室蘭・函館・帯広など全道から、看護師、保健師、OT、PT、STなどのさまざまな医療職の皆様、60名の方々にご参加いただきました。

杉原さんの事例発表では、娘さやかちゃんが初めてレッツチャットで発した「ありがとう」の言葉に学校の先生（男性）が号泣したというエピソードが心に残りました。たくさんの人に見守られてさやかちゃんの成長があること、コミュニケーションが人を動かしていくことが伝わりました。



井村先生からは、意思伝達支援をしていくうえでの新しい視点を示していただきました。ITの世界の進歩を福祉の制度が追いかけてきたこと、制度に寄らない支援のあり方も考えていく必要があること、また最新の制度に関する情報を教えていただきました。

1年間の集大成として良い時間が持てました。終了後の交流会は深夜におよびました。

今後の予定

☆2月23日（土）15時～17時30分 「小さな勉強会」 iCare ほっかいどう事務所で。

講師：神貴博さん（中村記念病院臨床工学科係長）自作ナースコールのノウハウ、オリジナルスイッチなどスイッチ作成や加工技術のすべてを見せていただきます。

☆3月6日（水）午前10時～12時「小さな勉強会 OAK 体験会」

これまでとは違う概念のエアスイッチ OAK を体験してみましよう。

会場：かでの2・7 540会議室（中央区北2西7）

☆3月2日（土）10時～15時（株）パシフィックサプライ主催 会場：かでの2・7 310会議室

「伝の心」サポート技術認定講習会

お申込みはパシフィックサプライのHP「セミナー・勉強会」より登録ください。

参加にはKAWAMURA プラチナクラブへの登録が必要です。

★iCareほっかいどうはfacebookを始めました。<http://www.facebook.com/iCarehokkaido>

特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目 SITY ビル 6F

T)011-222-4462 F)011-596-8794 jimu@icare-h.org <http://icare-h.org/>